

3年生が『いのち』について考えました

今日の5、6校時に3年生は『いのちの授業』と題して、講話を聴きました。講師は柳川市で助産院を開いておられる**寺田恵子様**でした。

今日の講話では、赤ちゃんができるところから出産までの話や、多くの人といのちがつながっていること、いのちはかけがえのないものであることなど様々な話がありました。オンラインでしたが、3年生は真剣に話を聞いていました。というのも寺田先生の優しく温かみのある口調から伝わってくるお人柄と、助産師として数多くの分娩に関わった経験をもとに出てくる言葉の力によるものからでした。

とても素敵な講話であり、3年生の心にしっかりと響きました。後で3年生の感想を見せてもらいましたが、命について深く考えた様子が伝わってくるものでした。

今日は、とてもよい機会となりました。

子ども達の感想や、寺田先生の言葉の一部を紹介します。

- **どんな親でも赤ちゃんを産む決断をしたことは命がけですごいことで、自分の親が決断してくれたことによって今、私が無事に産まれてきたんだと思うと、「産んでくれてありがとう」と言いたくなりました。**
- **前から命は大切だとわかってはいたけど、改めて命とは何かを考え、新たな価値や大切さを知ることができた。家に帰ったら、普段伝えられていない感謝の気持ちを親に伝えてみようと思った。**
- **産まれてくるのは、本当にすごいことなんだと思った。**
- **今日の授業を聞いて、自分の命を大切に、他のみんなの命も大切にしていきたいと思った。**
- **自分が親になったら、子どもにとって一番の理解者になりたい。**
- **ここまで自分を育ててくれた親はすごい。感謝してもしきれないくらいうれしい。どんだけ自分が我がままだったか、どんだけ親が優しいのかが、すごくわかりました。**
- **親が私に対して怒ってくれること、ほめてくれること、全てに感謝したいと思った。**
- **産んでくれてありがとう。生まれてくれてありがとう。**
- **そのままがいい。**
- **あなたは一人ではない。**
- **命が一番大事。**
- **周りの人を大事にできる人になってください。**



生徒代表お礼の言葉。
寺田先生のメッセージをしっかりと受け止め、感謝の言葉を述べていました。